

# 平成30年度 一般会計決算の概要

令和元年7月26日  
京都府総務部財政課  
(075-414-4410・4421)

## 1 平成30年度一般会計決算のポイント

### 【歳入】

- ・府税収入は約200億円の減となったが、府費負担教職員制度の見直し（京都市への移管）による税源移譲分を除くと、約43億円の増

### 【歳出】

- ・社会保障関係経費は、難病業務の京都市への移管や国民健康保険の都道府県単位化に伴う減の影響を除くと、実質的に約20億円の増
  - ・平成30年7月豪雨や度重なる台風からの復旧等に伴い、災害復旧費は約83億円の増
- ➡ 府税は実質的には増収となったものの、社会保障関係経費は引き続き増加しており、今後も厳しい財政運営が続く見通し

なお、決算規模は、府費負担教職員制度の見直し及び融資実績に応じた中小企業融資預託の縮減等に伴い、歳入・歳出とも前年度より減  
制度見直し等による影響額は、歳入・歳出とも600億円程度であり、その影響を除くと、実質的には歳入・歳出とも前年度より増

## 平成30年度一般会計決算収支

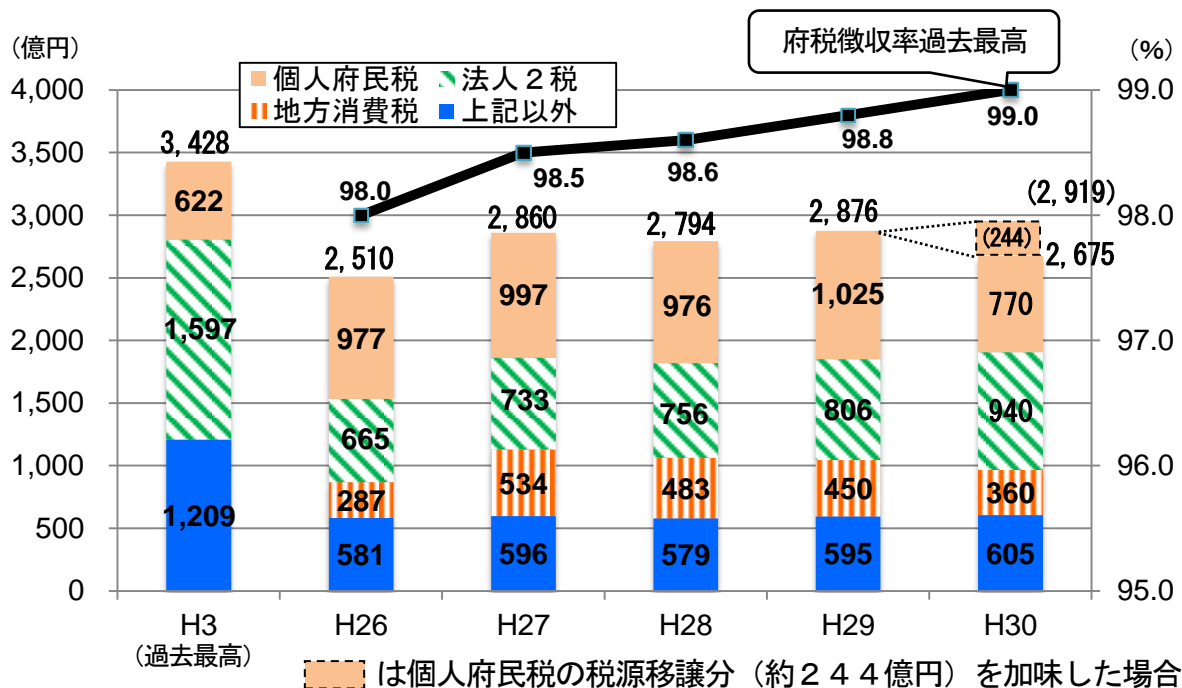
(単位：百万円)

	平成30年度	平成29年度	増減額	対前年度比
歳入総額 A	876,905	921,723	△ 44,818	95.1
歳出総額 B	872,745	918,507	△ 45,762	95.0
形式収支 C=A-B	4,160	3,216	944	129.4
翌年度へ繰り越すべき財源 D	3,242	2,458	784	131.9
実質収支 E=C-D	918	758	160	121.1
前年度実質収支 F	758	690	68	109.9
単年度収支 E-F	160	68	92	235.3



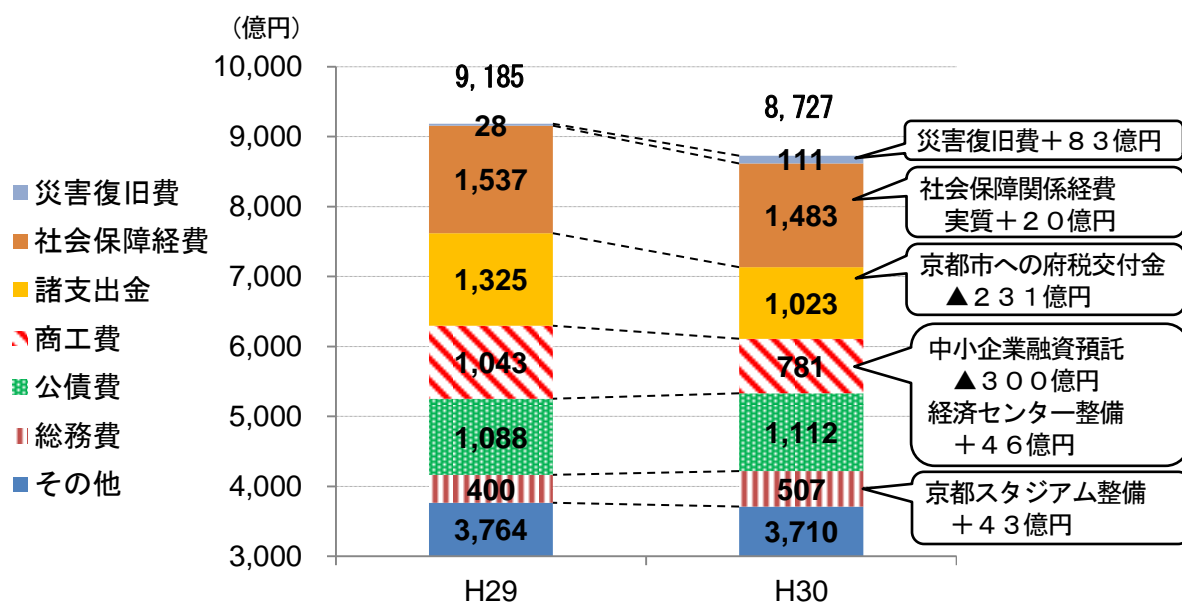
## 2 府税決算の状況

- ▶ 景気の回復基調を受け、法人2税は増収となったが、制度改正（税源移譲）による個人府民税の減により、総額は約2,675億円となり、約200億円の減 ※税源移譲分（約244億円）を加味すると2,919億円（約43億円増）
- ▶ 府税徴収率は、過去最高を更新し、99.0%となった



## 3 歳出決算の状況

- ▶ 災害復旧費は平成30年7月豪雨や台風被害からの復旧・復興のため、約83億円増
- ▶ 社会保障関係経費は約54億円減少したが、難病業務の京都市への移管や国民健康保険の都道府県単位化に伴う減の影響（約74億円）を除くと、介護・医療関係経費の増加により、実質的には約20億円増加



## 【主な取組と成果】

### ▶ 子育て環境日本一

- ・ 保育環境向上のための児童福祉施設の設備等の整備を支援 123 箇所 [約 0.9 億円]
- ・ 子ども食堂、こどもの居場所等の開設・運営を支援 累計：⑳117 箇所→㉑141 箇所 [約 1.5 億円]
- ・ 新たに京大病院を総合周産期母子医療センターに指定するとともに、府立医大病院の NICU 増床に向けた基本設計（令和 2 年度供用開始予定）を行い、周産期医療体制を強化 [約 0.1 億円]

### ▶ 学びの安心とグローバル人材の育成

- ・ 府立鴨沂高等学校のリニューアル整備をはじめ、府立高校の学習環境を改善 [約 31.4 億円]
- ・ 北部地域における学舎制（令和 2 年度～）を見据えた遠隔教育システムを整備 4 校 [約 0.4 億円]
- ・ 小学校英語教育推進教員を新たに配置 31 人 [約 0.6 億円]

### ▶ 京都産業の活力向上

- ・ 京都経済センターを整備し、オール京都体制により中小企業支援機能を結集 [約 46.1 億円]
- ・ 地域産業雇用創出プロジェクトにより、新たに正規雇用を創出 [約 10.0 億円]

新規正規雇用数（㉑～㉓累計）

ものづくり分野 4,422 人

目標達成率 176.9%

観光分野 1,227 人

目標達成率 122.7%

- ・ 広域観光振興を促進するため、観光玄関口にデジタルサイネージを設置 10 箇所 [約 0.3 億円]
- ・ 海外（香港・シンガポール等）において府内産農林水産物フェア等を開催するなど、府内産農林水産物の販売を促進 [約 0.2 億円]

府内産農林水産物輸出額 ㉑約 7.4 億円 → ㉓約 8.2 億円

過去最高

### ▶ スポーツ・文化力による京都づくり

- ・ 京都スタジアム整備の着実な進捗（本年 12 月完成予定）をはじめ、各地域の施設整備を促進 [約 63.3 億円]
- ・ アーティスト自身が出展者として参加する「ARTISTS' FAIR KYOTO」を開催するなど、若手アーティストの活動を支援し、新たな市場を開拓 [約 0.3 億円]
- ・ フェア売上 ㉑約 1,500 万円 → ㉓約 2,700 万円 **倍増**
- ・ 次代の和食文化を担う人材を育成するため、府立大学に和食文化学科を開設 [約 1.7 億円]

### ▶ 災害復旧・復興

- ・ 平成 30 年 7 月豪雨や度重なる台風からの災害復旧及び中小企業者や農林水産業者等の早期の復興を支援 [約 138.1 億円]

### ▶ 防災・減災対策

- ・ 住民主体による水害等避難行動タイムラインの作成をモデル支援（3 地域）するとともに、由良川・桂川関連整備、古川等の府管理河川の改修をはじめとする治水対策や地震対策など、安心・安全基盤の整備を推進 [約 239.6 億円]

#### 4 府民利用施設の充実

<p style="text-align: center;"><b>京都経済センター</b> <u>平成31年3月オープン</u></p> <p>中小企業支援機能を集積し、府域の中小企業が抱える課題に対し、オール京都の総合力を結集して取り組む総合支援拠点を整備</p> <p style="text-align: center;">府事業費：約46.1億円（<u>③〇決算同額</u>）</p> 	<p style="text-align: center;"><b>こども発達支援センター（新棟）</b> <u>平成30年10月オープン</u></p> <p>「こども相談室」を開設するとともに「放課後等デイサービス」を実施し、教育・福祉・医療等関係機関が連携して発達障害児等を支援</p> <p style="text-align: center;">総事業費：約1.3億円（<u>③〇決算約1.1億円</u>）</p> 
<p style="text-align: center;"><b>府立鴨沂高等学校</b> <u>平成30年8月リニューアル</u></p> <p>高校の歴史と伝統を活かしつつ、既存校舎の耐震化・バリアフリー化を図るなど安心・安全な教育環境にリニューアル</p> <p style="text-align: center;">総事業費：約60.3億円（<u>③〇決算約16.3億円</u>）</p> 	<p style="text-align: center;"><b>丹後・知恵のものづくりパーク</b> <u>平成31年4月リニューアル</u></p> <p>北部地域におけるものづくり産業の支援を担う中核拠点として、企業間連携の促進に向けた施設改修や時代に即した人材育成環境を整備</p> <p style="text-align: center;">総事業費：約1.3億円（<u>③〇決算同額</u>）</p> 
<p style="text-align: center;"><b>一般国道307号（奥山田バイパス）</b> <u>平成31年3月供用開始</u></p> <p>幅員狭小、線形不良区間の解消等を図り、交通の安全性と利便性を向上</p> <p style="text-align: center;">総事業費：約38.0億円（<u>③〇決算約5.0億円</u>）</p> 	<p style="text-align: center;"><b>丹波自然運動公園</b> <u>平成31年4月リニューアル</u></p> <p>新たに車いす競技専用練習コース及びクロスカントリーコースを整備</p> <p style="text-align: center;">総事業費：約1.4億円（<u>③〇決算約0.8億円</u>）</p> 

## 5 府債残高の状況

- ▶ 臨時財政対策債や災害関連起債等の発行により、府債残高は増加したものの、それらを除く実質的府債残高は195億円の減少

実質的府債残高 ⑳末 11,614億円 → ㉑末 11,419億円

府民1人当たり残高(実質) 453千円 → 447千円

※実質的府債残高：臨時財政対策債や災害関連の起債等を除く府債残高

